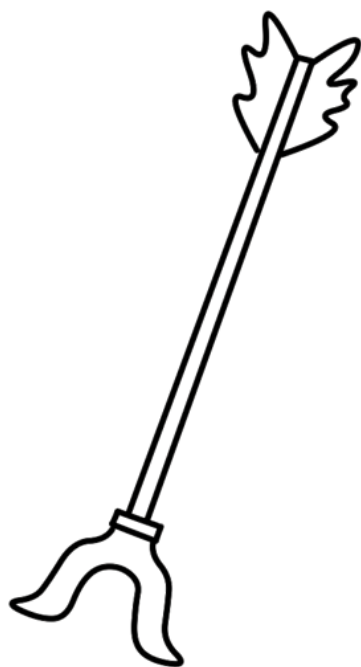
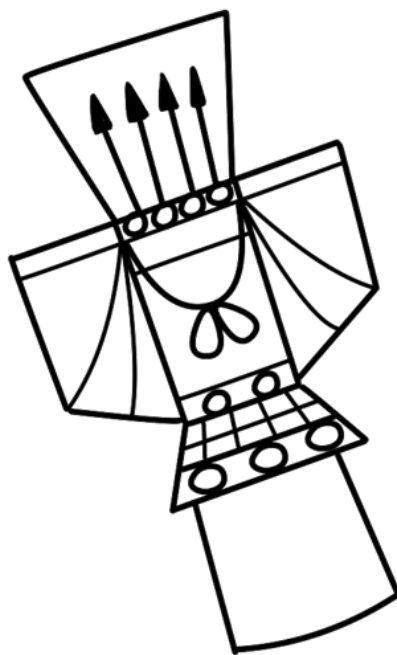




「かりまた矢」は二股に分かれてて
 内側の刃で射切るんだよ
 古墳時代後期以降に
 出てくるデザインで
 大田区からも出土しているよ

「ゆき」は矢を入れて運ぶ
 道具だよ。古墳時代は
 据え置く大型のものや
 背負うものも
 あったんだよ



「ひきめ矢」は先端に
 大きな鐏をつけたんだよ
 木で卵型を作って、中は空洞
 穴が開いているので矢が飛ぶと
 音が鳴り、儀式で使ったんだ

